

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年3月30日)

試料採取日：平成24年3月15日・16日

測定方法：廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)
(平成23年12月、環境省)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	29	40	69
堤根処理センター	不検出	43	60	103
橘処理センター	不検出	31	42	73
王禅寺処理センター	不検出	26	35	61

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	180	260	440
堤根処理センター	不検出	300	400	700
橘処理センター	不検出	130	170	300
王禅寺処理センター	不検出	150	200	350

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年3月30日)

試料採取日：平成24年3月16日

測定方法：廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)
(平成23年12月、環境省)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※1)排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

2)検出下限値：10Bq/kg

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成24年3月21日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(日立アロカメディカル社製 型式TCS-172B)

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	3月21日	5	0.07	0.09	0.07	0.07
		50	0.08	0.09	0.06	0.07
		100	0.08	0.08	0.06	0.07
堤根処理センター	3月21日	5	0.08	0.08	0.08	0.11
		50	0.08	0.08	0.08	0.10
		100	0.07	0.08	0.07	0.10
橘処理センター	3月21日	5	0.08	0.07	0.07	0.07
		50	0.07	0.07	0.06	0.07
		100	0.07	0.07	0.06	0.07
王禅寺処理センター	3月21日	5	0.07	0.07	0.08	0.09
		50	0.06	0.06	0.06	0.08
		100	0.06	0.06	0.06	0.08

※)測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年3月16日)

試料採取日：平成24年3月1日

測定方法：廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)
(平成23年12月、環境省)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	30	39	69
堤根処理センター	不検出	22	35	57
橘処理センター	不検出	19	27	46
王禅寺処理センター	不検出	22	31	53

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	210	300	510
堤根処理センター	不検出	380	530	910
橘処理センター	不検出	210	270	480
王禅寺処理センター	不検出	160	210	370

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年3月16日)

試料採取日：平成24年3月1日

測定方法：廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)
(平成23年12月、環境省)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※1)排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

2)検出下限値：10Bq/kg

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成24年3月13日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(日立アロカメディカル社製 型式TCS-172B)

単位： μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	3月13日	5	0.07	0.08	0.06	0.08
		50	0.08	0.09	0.06	0.08
		100	0.09	0.09	0.06	0.08
堤根処理センター	3月13日	5	0.09	0.08	0.10	0.11
		50	0.08	0.08	0.08	0.10
		100	0.07	0.07	0.07	0.09
橘処理センター	3月13日	5	0.08	0.07	0.06	0.08
		50	0.07	0.07	0.05	0.07
		100	0.07	0.07	0.06	0.07
王禅寺処理センター	3月13日	5	0.08	0.07	0.07	0.09
		50	0.07	0.06	0.06	0.08
		100	0.07	0.06	0.06	0.08

※)測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年3月6日)

試料採取日：平成24年2月21日

測定方法：廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)
(平成23年12月、環境省)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	27	34	61
堤根処理センター	不検出	46	56	102
橘処理センター	不検出	25	33	58
王禅寺処理センター	不検出	27	35	62

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	220	300	520
堤根処理センター	不検出	210	290	500
橘処理センター	不検出	180	240	420
王禅寺処理センター	不検出	180	260	440

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年3月6日)

試料採取日：平成24年2月21日

測定方法：廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)
(平成23年12月、環境省)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位：Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※1)排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

2)検出下限値：10Bq/kg

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成24年2月27日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(日立アロカメディカル社製 型式TCS-172B)

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	2月27日	5	0.09	0.10	0.09	0.07
		50	0.08	0.09	0.07	0.07
		100	0.08	0.09	0.05	0.08
堤根処理センター	2月27日	5	0.10	0.07	0.09	0.11
		50	0.09	0.07	0.08	0.11
		100	0.08	0.07	0.08	0.10
橘処理センター	2月27日	5	0.07	0.08	0.06	0.08
		50	0.07	0.08	0.06	0.08
		100	0.07	0.07	0.05	0.08
王禅寺処理センター	2月27日	5	0.08	0.06	0.07	0.10
		50	0.07	0.06	0.07	0.09
		100	0.07	0.05	0.06	0.08

※)測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年2月21日)

試料採取日：平成24年2月6日

測定方法：廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)

(平成23年12月、環境省)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	22	27	49
堤根処理センター	不検出	45	60	105
橘処理センター	不検出	25	31	56
王禅寺処理センター ^{※4)}	—	—	—	—

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	220	310	530
堤根処理センター	不検出	330	430	760
橘処理センター	不検出	180	230	410
王禅寺処理センター ^{※4)}	—	—	—	—

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

4) 王禅寺処理センターについては、施設の稼働を停止していたため、測定していない。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年2月21日)

試料採取日：平成24年2月6日

測定方法：廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)
(平成23年12月、環境省)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※1)排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

2)検出下限値：10Bq/kg

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成24年2月10日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(日立アロカメディカル社製 型式TCS-172B)

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	2月10日	5	0.08	0.09	0.06	0.09
		50	0.08	0.09	0.06	0.08
		100	0.07	0.09	0.06	0.08
堤根処理センター	2月10日	5	0.08	0.08	0.08	0.11
		50	0.08	0.07	0.07	0.10
		100	0.07	0.07	0.06	0.09
橘処理センター	2月10日	5	0.07	0.08	0.05	0.09
		50	0.07	0.07	0.06	0.08
		100	0.07	0.06	0.05	0.07
王禅寺処理センター	2月10日	5	0.07	0.06	0.06	0.09
		50	0.06	0.06	0.06	0.08
		100	0.06	0.06	0.05	0.07

※)測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター排ガス中放射能濃度測定結果

測定機関：東京テクニカル・サービス(株)

測定方法：廃棄物等の放射能調査・測定法暫定マニュアル

(平成23年11月11日、廃棄物等の放射能調査・測定法研究会)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20P4-70)

単位:Bq/m³_N

施設名	試料採取日	排ガス			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	平成23年12月20日	不検出	不検出	不検出	不検出
堤根処理センター	平成24年1月5日	不検出	不検出	不検出	不検出
橘処理センター	平成24年1月27日	不検出	不検出	不検出	不検出
王禅寺処理センター	平成24年1月28日	不検出	不検出	不検出	不検出

※) 検出下限値：

放射性ヨウ素131 ：1Bq/m³_N

放射性セシウム134：2Bq/m³_N

放射性セシウム137：3Bq/m³_N

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年2月6日)

試料採取日：平成24年1月23日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	38	55	93
堤根処理センター ^{※4)}	—	—	—	—
橘処理センター	不検出	28	37	65
王禅寺処理センター	不検出	33	43	76

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	280	380	660
堤根処理センター ^{※4)}	—	—	—	—
橘処理センター	不検出	190	250	440
王禅寺処理センター	不検出	230	310	540

※1)主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2)飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3)各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

4)堤根処理センターについては、施設の稼働を停止していたため、測定していない。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年2月6日)

試料採取日：平成24年1月23日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位：Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※1)排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

2)検出下限値：10Bq/kg

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成24年1月26日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	1月26日	5	0.08	0.09	0.07	0.09
		50	0.09	0.08	0.06	0.08
		100	0.09	0.09	0.06	0.08
堤根処理センター	1月26日	5	0.11	0.08	0.07	0.12
		50	0.09	0.09	0.08	0.10
		100	0.08	0.08	0.07	0.10
橘処理センター	1月26日	5	0.08	0.08	0.06	0.09
		50	0.08	0.08	0.06	0.08
		100	0.07	0.07	0.06	0.08
王禅寺処理センター	1月26日	5	0.07	0.07	0.06	0.09
		50	0.06	0.06	0.06	0.08
		100	0.06	0.06	0.07	0.08

※)測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年1月27日)

試料採取日：平成24年1月11日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	32	40	72
堤根処理センター	不検出	47	63	110
橘処理センター	不検出	23	29	52
王禅寺処理センター	不検出	27	34	61

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	270	350	620
堤根処理センター	不検出	460	590	1050
橘処理センター	不検出	140	180	320
王禅寺処理センター	不検出	200	270	470

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年1月27日)

試料採取日：平成24年1月11日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※) 排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成24年1月17日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	1月17日	5	0.10	0.09	0.11	0.07
		50	0.11	0.09	0.07	0.08
		100	0.10	0.09	0.07	0.08
堤根処理センター	1月17日	5	0.11	0.07	0.09	0.12
		50	0.10	0.08	0.08	0.10
		100	0.08	0.07	0.07	0.10
橘処理センター	1月17日	5	0.09	0.07	0.06	0.09
		50	0.07	0.06	0.06	0.08
		100	0.07	0.07	0.06	0.07
王禅寺処理センター	1月17日	5	0.07	0.07	0.07	0.10
		50	0.07	0.06	0.07	0.09
		100	0.06	0.06	0.06	0.08

※) 測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年1月5日)

試料採取日：平成23年12月19日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	49	63	112
堤根処理センター	不検出	58	71	129
橘処理センター	不検出	52	64	116
王禅寺処理センター	不検出	51	63	114

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	320	400	720
堤根処理センター	不検出	730	920	1650
橘処理センター	不検出	190	250	440
王禅寺処理センター	不検出	290	370	660

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成24年1月5日)

試料採取日：平成23年12月19日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	不検出	不検出	不検出	不検出
外海水(排水口付近の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成23年12月27日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位： μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	12月27日	5	0.08	0.10	0.07	0.08
		50	0.09	0.09	0.06	0.07
		100	0.10	0.09	0.06	0.08
堤根処理センター	12月27日	5	0.10	0.09	0.11	0.14
		50	0.09	0.07	0.08	0.12
		100	0.06	0.09	0.07	0.10
橘処理センター	12月27日	5	0.11	0.10	0.07	0.09
		50	0.08	0.08	0.06	0.08
		100	0.08	0.08	0.06	0.08
王禅寺処理センター	12月27日	5	0.06	0.06	0.05	0.10
		50	0.07	0.07	0.06	0.09
		100	0.07	0.05	0.07	0.09

※) 測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年12月20日)

試料採取日：平成23年12月5日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	55	65	120
堤根処理センター	不検出	57	71	128
橘処理センター	不検出	38	48	86
王禅寺処理センター ^{※4)}	—	—	—	—

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	260	340	600
堤根処理センター	不検出	810	1000	1810
橘処理センター	不検出	170	210	380
王禅寺処理センター ^{※4)}	—	—	—	—

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

4) 王禅寺処理センターについては、施設の稼働を停止したため、測定していない。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年12月20日)

試料採取日：平成23年12月5日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	不検出	不検出	不検出	不検出
外海水(排水口付近の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年12月7日)

試料採取日：平成23年11月21日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	49	61	110
堤根処理センター	不検出	57	71	128
橘処理センター	不検出	71	92	163
王禅寺処理センター	不検出	110	150	260

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	300	390	690
堤根処理センター	不検出	540	690	1230
橘処理センター	不検出	170	210	380
王禅寺処理センター	不検出	490	610	1100

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年12月7日)

試料採取日：平成23年11月21日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位：Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※) 排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成23年12月13日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	12月13日	5	0.10	0.12	0.06	0.08
		50	0.09	0.10	0.06	0.08
		100	0.09	0.09	0.05	0.07
堤根処理センター	12月13日	5	0.09	0.08	0.08	0.13
		50	0.07	0.06	0.07	0.11
		100	0.06	0.06	0.07	0.09
橘処理センター	12月13日	5	0.08	0.07	0.06	0.08
		50	0.08	0.07	0.06	0.08
		100	0.07	0.06	0.05	0.07
王禅寺処理センター	12月13日	5	0.06	0.05	0.07	0.09
		50	0.05	0.06	0.05	0.07
		100	0.05	0.05	0.05	0.08

※) 測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年11月21日)

試料採取日：平成23年11月7日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	52	73	125
堤根処理センター	不検出	81	94	175
橘処理センター	不検出	86	110	196
王禅寺処理センター	不検出	69	85	154

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	340	410	750
堤根処理センター	不検出	700	860	1560
橘処理センター	不検出	300	370	670
王禅寺処理センター	不検出	570	730	1300

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年11月21日)

試料採取日：平成23年11月7日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※) 排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成23年11月28日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	11月28日	5	0.17	0.10	0.06	0.07
		50	0.12	0.09	0.06	0.08
		100	0.10	0.09	0.06	0.08
堤根処理センター	11月28日	5	0.11	0.09	0.10	0.14
		50	0.09	0.08	0.08	0.12
		100	0.08	0.08	0.07	0.11
橘処理センター	11月28日	5	0.07	0.07	0.06	0.09
		50	0.08	0.07	0.06	0.07
		100	0.07	0.07	0.06	0.08
王禅寺処理センター	11月28日	5	0.07	0.07	0.06	0.11
		50	0.07	0.06	0.06	0.09
		100	0.07	0.06	0.06	0.08

※) 測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年11月1日)

試料採取日：平成23年10月24日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	57	71	128
堤根処理センター	不検出	70	83	153
橘処理センター	不検出	62	77	139
王禅寺処理センター	不検出	79	94	173

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	380	460	840
堤根処理センター	不検出	880	1100	1980
橘処理センター	不検出	270	330	600
王禅寺処理センター	不検出	630	770	1400

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年11月1日)

試料採取日：平成23年10月24日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位：Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	不検出	不検出	不検出	不検出
外海水(排水口付近の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成23年11月10日・11日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位： μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	11月10日	5	0.10	0.10	0.08	0.09
		50	0.09	0.09	0.06	0.08
		100	0.09	0.09	0.06	0.07
堤根処理センター	11月10日	5	0.09	0.09	0.09	0.13
		50	0.08	0.07	0.07	0.10
		100	0.07	0.08	0.07	0.10
橘処理センター	11月11日	5	0.07	0.08	0.07	0.09
		50	0.08	0.07	0.06	0.08
		100	0.07	0.07	0.06	0.08
王禅寺処理センター	11月11日	5	0.10	0.11	0.10	0.11
		50	0.10	0.10	0.09	0.09
		100	0.10	0.10	0.08	0.10

※) 測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年10月20日)

試料採取日：平成23年10月3日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	84	95	179
堤根処理センター	不検出	140	160	300
橘処理センター	不検出	110	130	240
王禅寺処理センター	不検出	120	150	270

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	680	820	1500
堤根処理センター	不検出	1200	1500	2700
橘処理センター	不検出	440	530	970
王禅寺処理センター	不検出	690	830	1520

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年10月20日)

試料採取日：平成23年10月3日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位：Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	不検出	不検出	不検出	不検出
外海水(排水口付近の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成23年10月25日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位： μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	10月25日	5	0.09	0.12	0.06	0.11
		50	0.07	0.09	0.06	0.09
		100	0.08	0.10	0.06	0.10
堤根処理センター	10月25日	5	0.10	0.07	0.09	0.11
		50	0.07	0.07	0.08	0.11
		100	0.07	0.07	0.07	0.10
橘処理センター	10月25日	5	0.07	0.07	0.07	0.10
		50	0.08	0.06	0.05	0.08
		100	0.07	0.06	0.06	0.08
王禅寺処理センター	10月25日	5	0.09	0.15	0.08	0.09
		50	0.08	0.10	0.07	0.09
		100	0.09	0.08	0.06	0.08

※) 測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年10月7日)

試料採取日：平成23年9月20日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	77	94	171
堤根処理センター	不検出	86	100	186
橘処理センター	不検出	82	94	176
王禅寺処理センター	不検出	84	100	184

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	460	570	1030
堤根処理センター	不検出	670	800	1470
橘処理センター	不検出	320	370	690
王禅寺処理センター	不検出	490	580	1070

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年10月7日)

試料採取日：平成23年9月20日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位：Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	—	—	—	—
外海水(排水口付近の海水)	—	—	—	—

※) 排水及び外海水については、排水を実施していないため測定していない。

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成23年10月13日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位：μSv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	10月13日	5	0.08	0.11	0.06	0.08
		50	0.07	0.09	0.07	0.08
		100	0.09	0.09	0.06	0.09
堤根処理センター	10月13日	5	0.10	0.09	0.07	0.15
		50	0.08	0.08	0.07	0.09
		100	0.07	0.10	0.07	0.10
橘処理センター	10月13日	5	0.10	0.09	0.07	0.09
		50	0.07	0.08	0.06	0.07
		100	0.07	0.07	0.07	0.07
王禅寺処理センター	10月13日	5	0.10	0.11	0.08	0.09
		50	0.09	0.10	0.08	0.08
		100	0.09	0.08	0.06	0.08

※) 測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年9月26日)

試料採取日：平成23年9月8日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	88	100	188
堤根処理センター	不検出	79	97	176
橘処理センター	不検出	69	77	146
王禅寺処理センター	不検出	57	69	126

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	600	700	1300
堤根処理センター	不検出	750	900	1650
橘処理センター	不検出	310	350	660
王禅寺処理センター	不検出	560	640	1200

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年9月26日)
試料採取日：平成23年9月8日
測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)
使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)
施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	不検出	不検出	不検出	不検出
外海水(排水口付近の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課
測定日：平成23年9月29日
使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	9月29日	5	0.08	0.12	0.09	0.09
		50	0.08	0.10	0.06	0.09
		100	0.08	0.09	0.05	0.09
堤根処理センター	9月29日	5	0.09	0.06	0.06	0.10
		50	0.07	0.07	0.07	0.10
		100	0.06	0.06	0.07	0.10
橘処理センター	9月29日	5	0.08	0.07	0.06	0.10
		50	0.08	0.07	0.06	0.07
		100	0.07	0.07	0.05	0.07
王禅寺処理センター	9月29日	5	0.10	0.12	0.08	0.09
		50	0.08	0.10	0.07	0.08
		100	0.07	0.10	0.07	0.08

※)測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年9月15日)

試料採取日：平成23年8月30日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	120	140	260
堤根処理センター	不検出	75	84	159
橘処理センター	不検出	58	64	122
王禅寺処理センター	不検出	72	87	159

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	540	620	1160
堤根処理センター	不検出	810	950	1760
橘処理センター	不検出	310	340	650
王禅寺処理センター	不検出	580	670	1250

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 各放射性物質の測定結果については、四捨五入して有効数字二桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年9月15日)
試料採取日：平成23年8月30日
測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)
使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)
施設名：浮島埋立事業所

単位:Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	不検出	不検出	不検出	不検出
外海水(排水口付近の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課
測定日：平成23年9月15日
使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位: μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	9月15日	5	0.08	0.09	0.06	0.09
		50	0.07	0.09	0.06	0.09
		100	0.07	0.09	0.06	0.08
堤根処理センター	9月15日	5	0.09	0.07	0.08	0.11
		50	0.08	0.07	0.07	0.10
		100	0.07	0.07	0.07	0.09
橘処理センター	9月15日	5	0.08	0.07	0.06	0.09
		50	0.07	0.07	0.05	0.07
		100	0.07	0.07	0.05	0.07
王禅寺処理センター	9月15日	5	0.09	0.14	0.09	0.09
		50	0.09	0.10	0.08	0.07
		100	0.08	0.09	0.07	0.08

※)測定値は1回30秒×3回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年8月24日)

試料採取日：平成23年8月5日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	110	130	240
堤根処理センター	不検出	140	160	300
橘処理センター	不検出	64	84	150
王禅寺処理センター	不検出	82	100	180

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	670	790	1500
堤根処理センター	不検出	1200	1400	2600
橘処理センター	不検出	380	430	810
王禅寺処理センター	不検出	800	890	1700

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

3) 測定結果については、四捨五入して有効数字2桁で表示している。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：日本環境㈱(報告日 平成23年8月24日)

試料採取日：平成23年8月5日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(オルテック社製 型式GEM20-70)

施設名：浮島埋立事業所

単位：Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	不検出	不検出	不検出	不検出
外海水(排水口付近の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成23年8月11日・12日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位： μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	8月11日	5	0.08	0.10	0.07	0.10
		50	0.08	0.10	0.06	0.09
		100	0.08	0.09	0.06	0.08
堤根処理センター	8月11日	5	0.12	0.09	0.08	0.13
		50	0.09	0.08	0.07	0.11
		100	0.08	0.07	0.07	0.10
橘処理センター	8月12日	5	0.09	0.08	0.07	0.09
		50	0.08	0.08	0.06	0.08
		100	0.07	0.07	0.06	0.07
王禅寺処理センター	8月12日	5	0.10	0.11	0.08	0.10
		50	0.09	0.10	0.07	0.08
		100	0.09	0.09	0.07	0.08

※)測定値は1回30秒×5回測定の平均値

処理センター焼却灰放射能濃度測定結果

測定機関：中外テクノス㈱(報告日 平成23年7月20日)

試料採取日：平成23年7月7日・8日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ社製 型式7500SL)

表1 主灰^{※1)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	主灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	116	130	246
堤根処理センター	不検出	118	129	247
橘処理センター	不検出	88	100	188
王禅寺処理センター	不検出	138	156	294

表2 飛灰^{※2)}放射能濃度測定結果

単位:Bq/kg

施設名	飛灰			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
浮島処理センター	不検出	658	731	1389
堤根処理センター	不検出	821	923	1744
橘処理センター	不検出	455	504	959
王禅寺処理センター	不検出	1200	1330	2530

※1) 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

2) 飛灰とは、集じん器で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)をいう。

埋立処分地保有水等放射能濃度測定結果

測定機関：中外テクノス㈱(報告日 平成23年7月20日)

試料採取日：平成23年7月7日

測定方法：緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

使用測定器：ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ社製 型式7500SL)

施設名：浮島埋立事業所

単位：Bq/kg

採取試料	保有水・排水・外海水			
	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
保有水(埋立処分地内の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出
排水(事業所で処理した排水)	不検出	不検出	不検出	不検出
外海水(排水口付近の海水)	不検出	不検出	不検出	不検出

処理センター敷地境界空間放射線量率測定結果

測定機関：川崎市環境局施設部処理計画課

測定日：平成23年6月29日～7月1日

使用測定器：シンチレーション式サーベイメータ(アロカ社製 型式TCS-171)

単位： μ Sv/h

施設名	測定日	測定点の 高さ(cm)	敷地境界			
			東	西	南	北
浮島処理センター	7月1日	5	0.08	0.12	0.07	0.10
		50	0.08	0.11	0.06	0.09
		100	0.08	0.10	0.06	0.08
堤根処理センター	7月1日	5	0.09	0.10	0.08	0.12
		50	0.08	0.09	0.07	0.11
		100	0.07	0.09	0.06	0.09
橘処理センター	6月30日	5	0.09	0.07	0.06	0.09
		50	0.08	0.06	0.06	0.08
		100	0.07	0.06	0.05	0.07
王禅寺処理センター	6月29日	5	0.09	0.10	0.07	0.08
		50	0.07	0.08	0.06	0.08
		100	0.07	0.07	0.05	0.07

※)測定値は1回30秒×3回測定の平均値